「中核機能強化体制」に係る報告書
(令和6年4月～令和7年3月分)

子ども発達支援センター 愛

①幅広い高度な専門性に基づく発達支援・家族支援機能

障害のある子どもと家族等の困難事例への対応や、地域の関係事業所等へのコンサルテーションを適切に実施できるよう、以下の取組等を通じてセンター職員の支援技術の向上を図っている。

指導役割を担う職員数	5人（従事職員への指導を行う立場の職員数）4人（外部講師）
専門性向上を図るための 具体的内容	<p>○施設内スキルアップ研修</p> <p>4/16 児童のアレルギーや健康状態について（職員 看護師）</p> <p>5/14 児童発達支援計画の捉え方について（外部講師）</p> <p>6/18 0才から就学までの子どもの遊びについて（職員 保育士）</p> <p>7/16 発達障害の基礎や構造化 環境づくりについて（外部講師）</p> <p>8/9 コンサルテーション（外部講師）</p> <p>9/17 ペアレントトレーニングについて（外部講師）</p> <p>10/10 コンサルテーション（外部講師）</p> <p>10/15 コンサルテーション振り返り（外部講師）</p> <p>11/19 アセスメント・評価キットについて（外部講師）</p> <p>12/17 アセスメント振り返り（外部講師）</p> <p>1/21 クラス間交流療育について</p> <p>2/18 コンサルテーション（外部講師）</p> <p>3/18 放課後デイサービス事業所見学（7か所）</p> <p>○施設内ケース会議</p> <p>5/28 クラスごとの年間療育計画と防災年間計画について （クラスリーダー・防災主任）</p> <p>6/26 クラスのケース会議（個別の療育内容について）</p> <p>7/30 子どもの遊びについて0才から6才（職員 保育士）</p> <p>8/27 クラスのケース会議（個別の療育内容について）</p> <p>9/24 クラスのケース会議（個別の療育内容について）</p> <p>10/29 後期各クラス年間療育計画について</p> <p>11/26 クラスケース会議（個別の療育内容について）</p> <p>12/3 子どもの権利擁護と虐待防止について（外部講師）</p> <p>1/28 クラスケース会議（個別の療育内容について）</p> <p>2/17 クラスケース会議（個別の療育内容について）</p> <p>3/10 クラスケース会議（個別の療育内容について）</p>

②地域の障害児通所支援事業所に対するスーパーバイズ・コンサルテーションの実施

地域内外の児童発達支援センターや事業所と連携しながら特性のある児童の療育をすすめていく。

助言・指導の実施回数	3回 延べ14人
助言・指導の内容 (主なもの)	10/4 市内児童発達支援事業所 児童発達支援管理責任者 会議 (10名) 10/10 10/15 防府市児童発達支援センター職員 コンサル テーション見学と参加 (2名)

③地域のインクルージョンの推進の中核機能

併行通園先などの幼稚園・保育園を訪問し、児童の活動の様子を観察、担当職員と情報交換を行い、連携しながら児童の育ちを支える支援を行う。

訪問回数	施設支援 4回 関係機関連携会議 21回
助言・指導の内容	保育所等への訪問支援 関係機関関係者との連携会議

④地域の発達支援に関する入り口としての相談機能

療育の入口として受給者証を持たない児童への支援を行う。

本事業に当たる職員数	5人
人数	延べ104人
サポートの具体的内容	発達が気になる子どもの相談と、施設内見学・・・46人 ぼっかぼか(受給者証を持たない児童の利用・発達相談)・・・延べ42人 発達が気になる子どもへの個別指導(理学療法士)・・・延べ16人

○その他 地域の事業所等への研修等の実施

地域の児童発達支援事業所・保育園等職員を対象とした研修会を行い資質の向上を図る。

受講者数	延べ90人 児童発達支援事業所・保育園等職員
期日、研修内容	5/2 就学説明会(山口市教育委員会担当教員) 6/6 就学説明会(山口総合支援学校担当教員) 7/31 アレルギーとエピペン研修(担当医師) 8/17 ティーチャーズトレーニング研修(外部講師) 8/26 発達が気になりな児童の支援に係る関係者の意見交 換会(外部講師) 10/19 1/25 絵カードを用いたコミュニケーション支援研修 (外部講師) 12/10 発達の気になる子への対応と発達検査について (外部講師) 3/8 令和7年度就学説明会(山口市教育委員会担当教員)